



森林管理者が行う効果的なエゾシカ対策のために

森林影響評価・シカ密度推定法の確立、GISによる捕獲適地の抽出、効果的な捕獲技術の開発

背景

- ・エゾシカによる農林業被害額は約46億円（H26年度）と甚大であり、森林や湿原生態系に及ぼす影響が著しい。
- ・主要な生息地の森林において、森林管理者が効果的捕獲を可能とする調査・計画・対策手法の検討が必要

成果

事前調査・計画策定

① **森林影響評価**
対策が必要な森林の抽出

② **密度推定法**
捕獲場所選定・動向把握が可能

③ **捕獲適地抽出**
捕獲可能エリアの抽出

- ① 稚樹や草本類の**食痕率**を用いた影響評価手法を確立
- ② 森林単位のシカの**個体数推定**と**増減傾向**の把握手法を確立
- ③ GISによる銃とワナの捕獲適地抽出 → 効率的で計画的な捕獲が可能に

対策の実施

④ **捕獲技術開発**
カリング*が可能

*カリング：森林管理者が被害防止のために計画的に行う許可捕獲のこと

④ 移設が容易で捕獲効率が高い**ワナ**を開発

効率が10倍

新型ワナの開発

開発した小型囲いワナ（幅2×長さ4×高さ2.7m）

複数頭の同時捕獲が可能

期待される効果

- ・銃とワナを組み合わせた効果的な捕獲手法を確立、「手引き」により森林管理者のシカ管理技術向上を図ります。
- ・北海道エゾシカ管理計画に活用し、森林管理者が行う捕獲事業により管理目標の達成に寄与します。